学校番号	112

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	表現メディアの編集と表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ポイントでマスタ　基礎からはじめる情報リテラシーOffice2013　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次からメディアについて学習してきた集大成になります。動きのある視覚表現である動画の効果を CM 等を見ることによって理解しながら制作をしていきましょう。
・表現メディアによって表現するためのソフトウェアも多くなってくるので、共通する操作を知ることによって横断的に操作方法を学べるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・表現メディアの特徴とその使い分けを実際の制作活動を通して実感し、問題点を自ら挙げていくことができる。
・世の中の表現メディアを模倣して実際に制作することによって、優れた表現方法を理解して情報表現を行うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・表現メディアの特性の違いを読み取ろうとする態度 ・自分以外の制作した作品を見て、メディアの利点をいかしているかを読み取る態度	・多数の人に対して共感を得てもらうための表現方法を考える力 ・引きつけるための効果的な表現を自ら考えて制作する力	・メディアの特性を理解して制作を行うことができる	・表現メディアの特性を理解することができる ・編集ツールの基礎・基本的な操作方法の理解 ・
評価方法	学習状況の観察 実習作品 レポート	学習状況の観察 実習作品 相互評価	学習状況の観察 課題作品 実技・実習の結果	学習状況の観察 実習作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現メディアの種類と特性	○文字 ○図形 ○音 ○動画	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:表現メディアの特性に興味をもち、積極的に取り組んでいる。 b:表現メディアの特性の違いを理解して、考えて活用することができる。 c:状況に応じた表現メディアの選択をして情報表現することができる。 d:メディアによる伝わり方の違いが理解できる。	授業観察 レポート
2学期	コンピュータグラフィックスの作成	○3D モデル ○制作活動	○ ○	 ○	○ ○	○	a:3D モデルに興味をもって積極的に制作に取り組むことができる。 b:点・面・線という部位ごとの目線でとらえ、３Dモデルを作ろうと考えることができる。 c:平面だけにとらわれず、奥行きを意識して３Dモデルを制作することができる。 d:制作ツールの基礎・基本を理解して制作することができる。	授業観察 課題作品
2学期	映像の編集と表現	○映像の効果 ○編集ツールの基本操作	○ ○	 ○	 ○	○	a:映像表現に興味関心をもって、積極的に取り組むことができる。 b:効果的な伝え方を考えて、政策することができる。 c:複数のファイルから編集を行うことで動画を作成することができる。 d:トリミング、カット等の編集ツールの基礎・基本の操作方法を理解できる。	授業観察 実習作品

3学期	映像の編集と表現	○制作活動	○	○	○		a: 映像表現に興味関心をもって、積極的に取り組むことができる。 b:テーマに沿った効果やテロップを自ら考えて制作することができる。 c:自らテーマ設定を行い、その内容に合わせた動画を制作することができる。 d:テロップや字幕等のフォントを利用した表現効果を理解できる。	授業観察 課題作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。